

## 資料 3

### 中海の水質及び流動会議

#### 【報告事項】

- ・平成24年度水質測定結果  
・・・・・・・・・・（国土交通省、鳥取県、島根県）
- ・第5期湖沼水質保全計画等の施策の進捗状況  
・・・・・・・・・・（国土交通省、鳥取県、島根県、流域市）
- ・米子湾流動等調査について  
・・・・・・・・・・（国土交通省、鳥取県、島根県、流域市）

# 平成24年度水質測定結果について

## (1) 環境基準の達成状況について

COD、全窒素及び全りんはいずれの項目も環境基準を達成しなかった(図1、図2)。また、第5期湖沼水質保全計画の目標水質についても、いずれの項目も水質目標値を超過した。  
 なお、宍道湖において8月から12月までアオコが確認され、中海にも流入した。

図1 中海の環境基準点の位置図

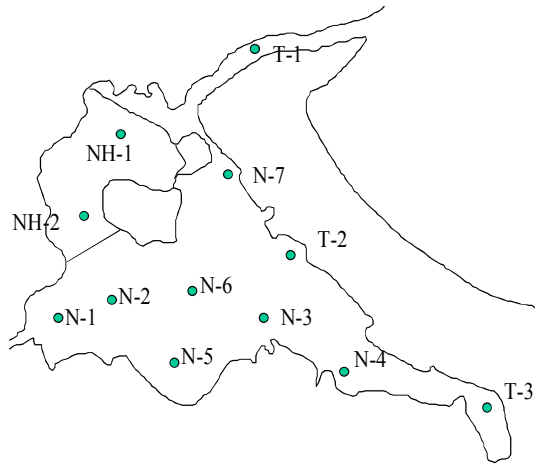
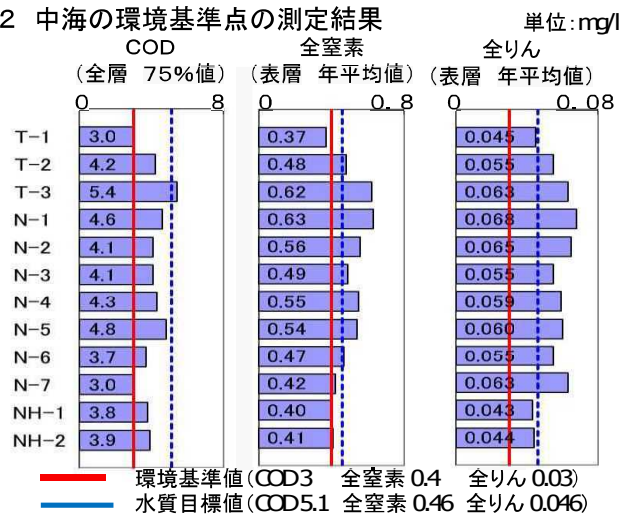


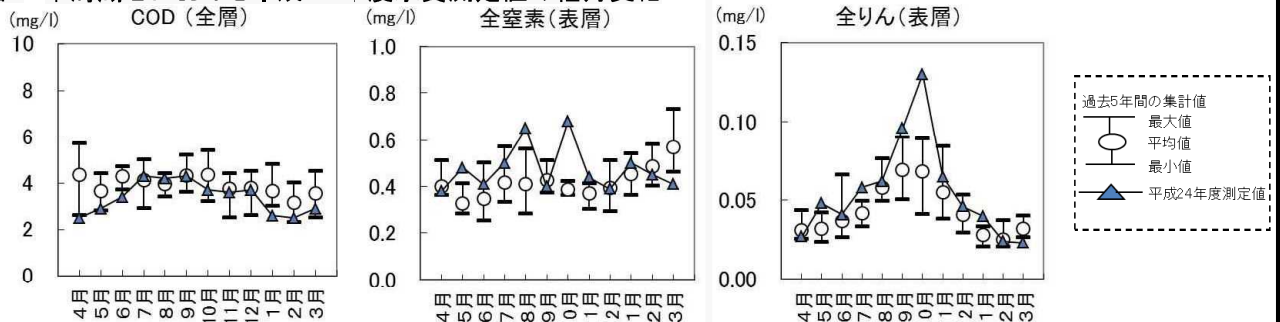
図2 中海の環境基準点の測定結果



## (2) 経月変化について(湖心 N-6)

CODは過去5年と同じか低かった。  
 全窒素は5月、8月、10月、11月が過去5年同月と比べ高かった。8月、10月は植物プランクトンの増殖および宍道湖からの流入によるものと考えられる。  
 全りんは、5月、7月、9月、10月、1月が過去5年同月と比べ高かった。夏期は下層の貧酸素化による底質からの溶出、および宍道湖からの流入によるものと考えられる。

図3 中海湖心における平成24年度水質測定値の経月変化



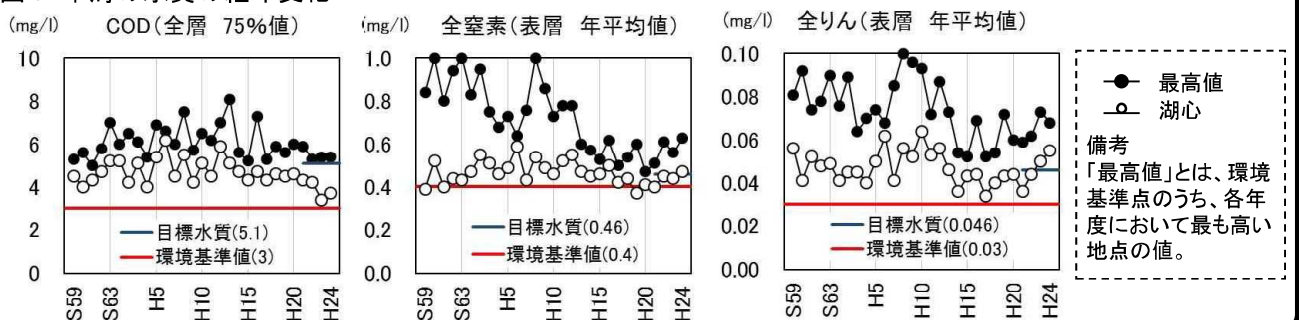
参考1-2. 平成24年度の気象状況

- 年平均気温(米子)は15.4°Cで、平年値(15.0°C)より高かった。
- 年間降水量(米子)は1367.0mmで、平年値(1772mm)より少なかった。
- 年間日照時間(米子)は1854.0時間で、平年値(1732.3時間)より長かった。

## (3) 経年変化について

最高地点では、長期的にはCODはおおむね横ばい傾向、全窒素、全りんは低下傾向。ここ数年はCOD、全窒素は横ばい、全りんはやや上昇傾向である。  
 湖心のここ数年はCODは低下傾向、全窒素、全りんは最高地点と同じ傾向である。  
 全りんは夏期に底質からの溶出が増えていることや宍道湖からの流入の影響が考えられる。

図4 中海の水質の経年変化



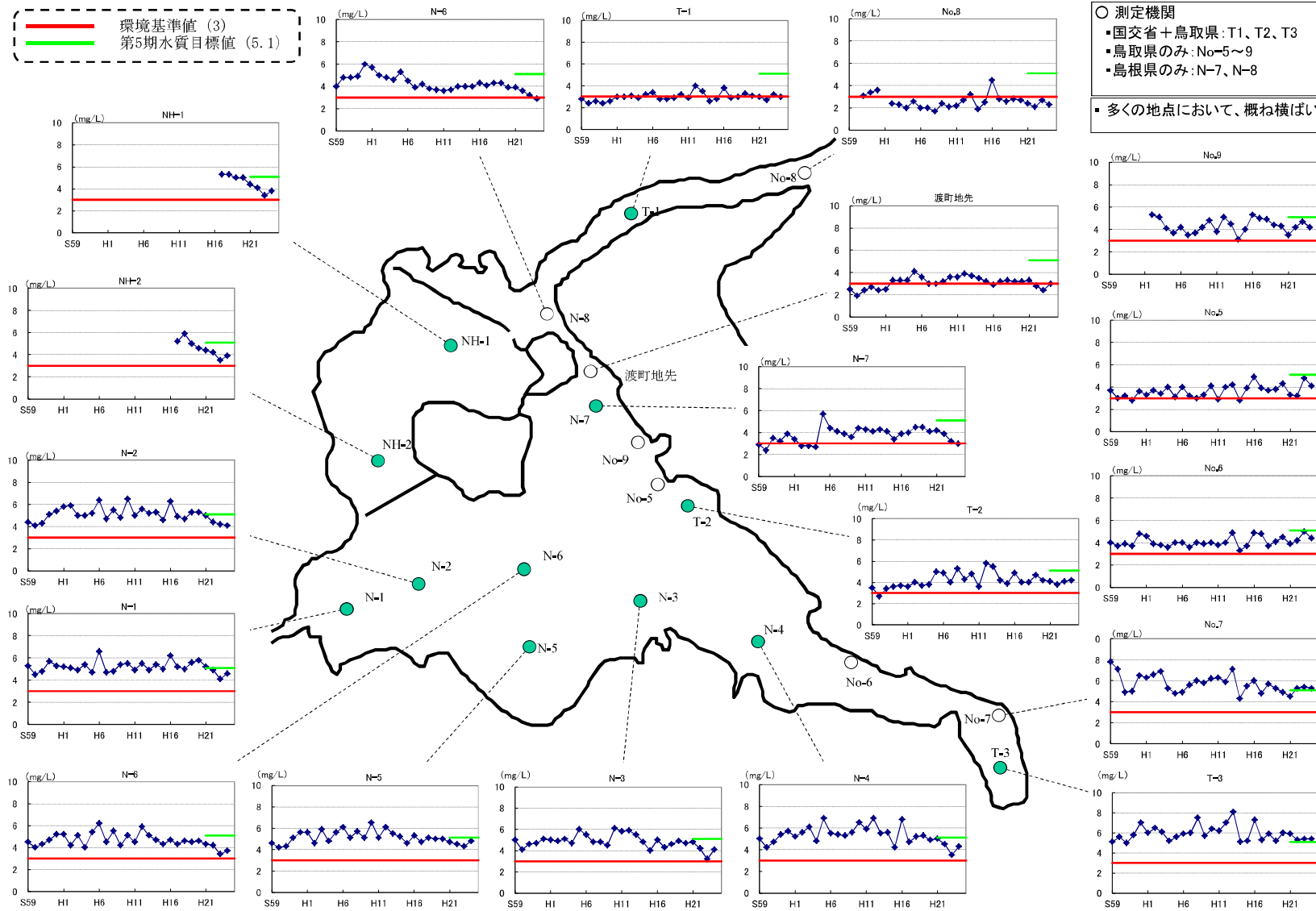
備考  
 「最高値」とは、環境基準点のうち、各年度において最も高い地点の値。

# 中海におけるCOD(全層 75%値)の経年変化

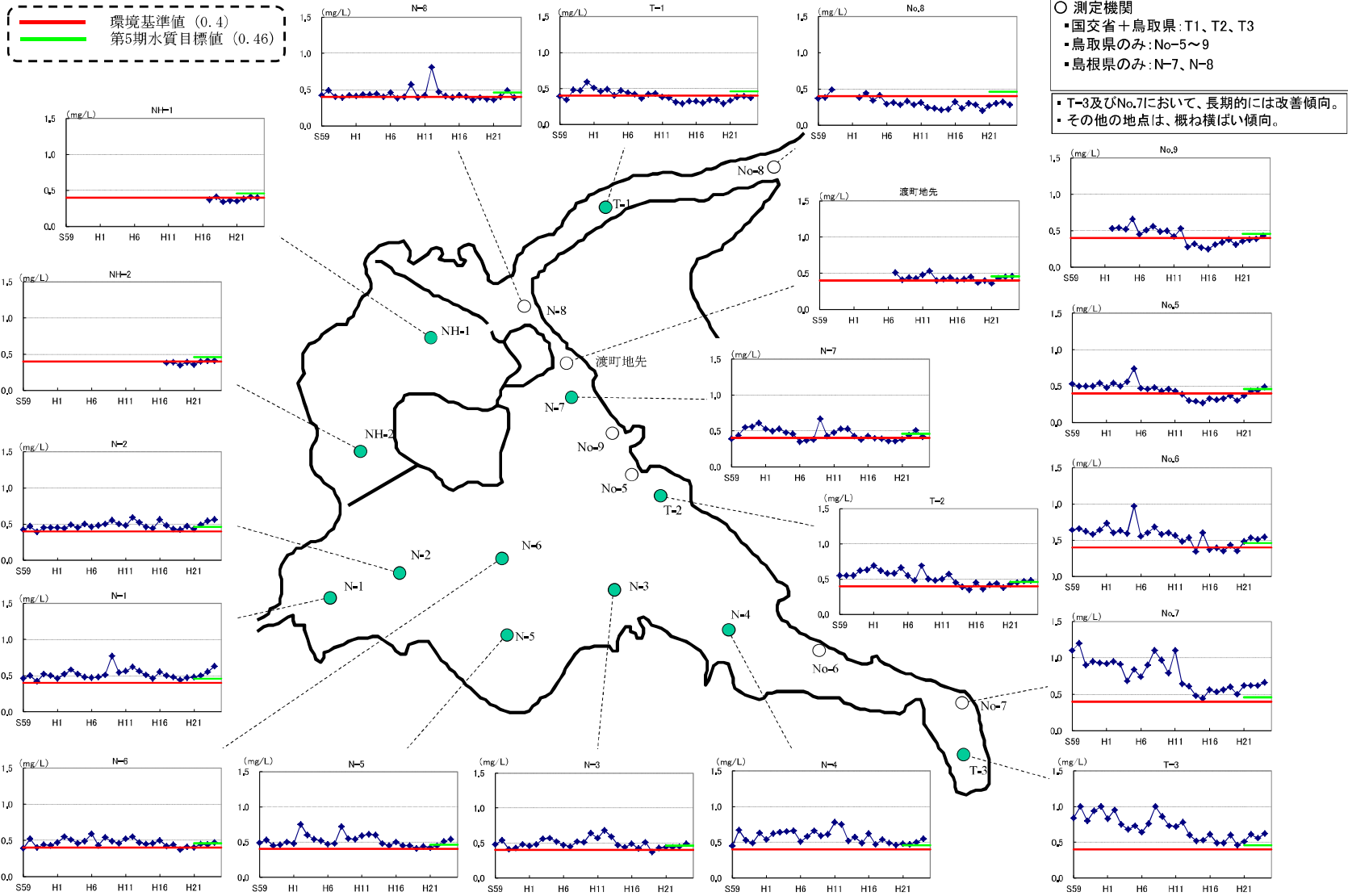
— 環境基準値 (3)  
— 第5期水質目標値 (5.1)

○ 測定機関  
 ■ 国交省+鳥取県: T1、T2、T3  
 ■ 鳥取県のみ: No-5~9  
 ■ 島根県のみ: N-7、N-8

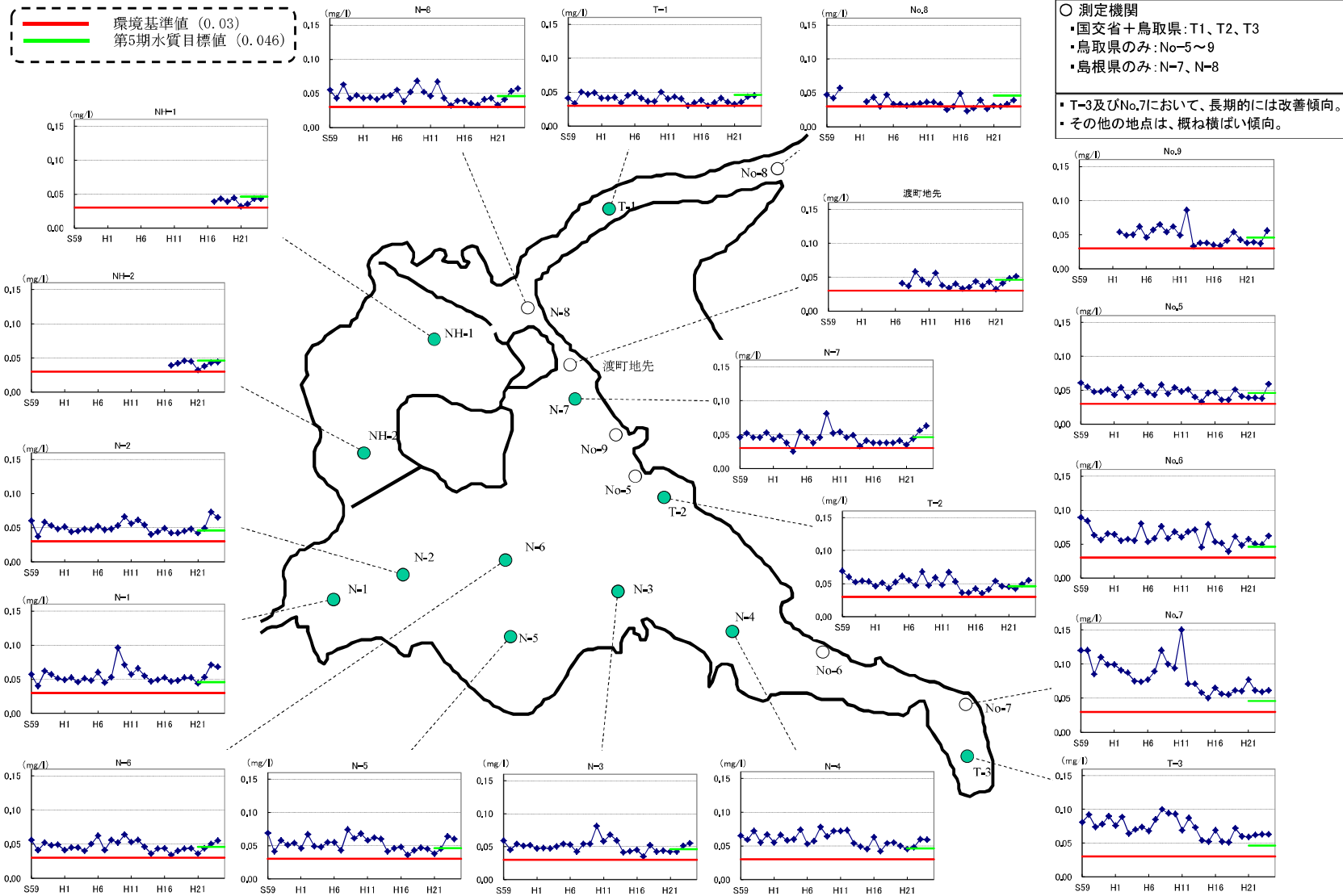
■ 多くの地点において、概ね横ばい傾向。



### 中海における全窒素(表層 平均値)の経年変化



### 中海における全りん(表層 平均値)の経年変化



# 中海における透明度(平均値)の経年変化

